

目次

はじめに	2
安全上のご注意	2
セキュリティ機能使用上のご注意	4
本書の表記	4
CELSIUS マニュアルの参照	5
商標および著作権について	5
1 概要	6
本製品について	6
各部の名称と働き	7
2 ソフトウェアについて	8
3 使い方	10
ディスクの入れ方	10
ディスクの取り出し方	11
4 取り扱いについて	12
本製品の取り扱い	12
ディスクの取り扱い	13
クリーニングについて	15
5 付録	16
主な仕様	16

はじめに

このたびは、光磁気ディスクユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、光磁気ディスクユニット（以降、本製品）の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。

ご使用になる前にワークステーション本体の『CELSIUS マニュアル』および本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いします。

2005年8月

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
---	--

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	ⓧで示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

⚠️ 警告



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにワクステーション本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・手動イジェクト治具や取り外したネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ レーザーの安全性について

本製品は、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

本製品は、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則 (DHHS 21 CFR) Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である (IEC 60825-1)、CENELEC 規格 (EN 60825-1) および、JIS 規格 (JISC6802) に準拠しています。

⚠️ 注意



- ・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。



- ・本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

セキュリティ機能使用上のご注意

- ・本製品を接続したワークステーションの電源をオフにする場合は、必ずセキュリティディスクを取り出してください。
本製品使用時のパスワード認証状態は、本製品およびパスワード認証を行ったセキュリティディスクにより保持されます。
パスワード認証を行った後に、セキュリティディスクを取り出して再セットした場合、およびワークステーション本体の電源をオフ／オンした場合は、セキュリティディスクをアクセスする前に、再度パスワードを入力してパスワード認証を行ってください。
- ・ネットワーク環境に接続されたワークステーションに本製品を接続し、本製品を「共有」指定して使用する場合は、本製品を接続したワークステーション上でパスワード認証されたセキュリティディスクの内容は、ネットワーク上の他のワークステーションからもアクセスできます。
ただし、ネットワーク上の他のワークステーションからパスワードを入力してパスワード認証を行うことはできません。
このような環境で使用する場合は、お客様の環境に合わせてネットワーク上のセキュリティ対応をされることをお勧めします。
- ・本製品を使用してセキュリティディスクに設定したディスクは、ディスクに記録されたパスワードを入力しないとアクセスできません。
また、セキュリティディスクに設定したディスクは、非セキュリティディスクに戻すことはできません。
- ・ディスクや本製品の故障、および故意に本製品の内部動作を解析してパスワードを解読してアクセスした場合には、当社は本製品のセキュリティ機能を保証しません。
- ・当社は本製品を使用したことにより生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ 製品の呼び方について

本文中では、製品名称を以下のように略して表記しています。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT 4.0	

■ コマンド入力（キー入力）

CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROM ドライブ] : ¥setup.exe

CELSIUS マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイトの法人のお客様向けホームページ FMWORLD.NET (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

商標および著作権について

Microsoft, Windows, MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005

1 概要

本製品について

■特長

本製品には、次のような特長があります。

- ・セキュリティ機能（1.3GB 媒体へのパスワード設定機能）を標準装備しています。
- ・光磁気記録方式により、何度もデータの書き込み、消去ができます。
- ・3.5インチ媒体に最大 640MB～1.3GB と大容量の情報が記録可能です。
- ・回転数が 5,455/3,637rpm（128～640MB/1.3GB）と高く、USB2.0 に対応しており、高性能です。

□ 使用できるディスク

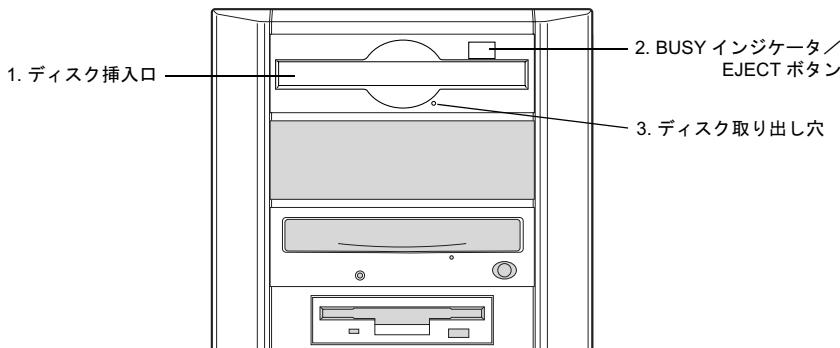
本製品では、次の直径 3.5インチ MO ディスクが使用できます。

容量	品名	商品番号	備考
128MB	光磁気ディスクカートリッジ R128	0242110	
230MB	光磁気ディスクカートリッジ MR230	0243210	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW230	0243310	オーバーライト媒体
540MB	光磁気ディスクカートリッジ MR540	0243410	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW540	0243510	オーバーライト媒体
640MB	光磁気ディスクカートリッジ MR640	0243610	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW640	0243710	オーバーライト媒体
1.3GB	光磁気ディスクカートリッジ MR13G	0243810	

POINT

- ▶ 総記憶容量は1MB=1000×1000バイト、1GB=1000×1000×1000バイトで換算しています。
- ▶ 本製品は、オーバーライト機能に対応していません。
オーバーライト媒体を使用した場合は、通常媒体と同等の書き込み性能となります。

各部の名称と働き



1 ディスク挿入口

ここにディスクを入れます。ディスクの入れ方は、「ディスクの入れ方」(→ P.10) をご覧ください。

2 BUSY (動作中) インジケータ／EJECT ボタン

・BUSY インジケータの働き

ディスクのデータを読み取ったり、書き込んだりしているときに、緑色に点灯します。また、本製品内が規定温度以上になると、読み書きの動作に関係なく約 2 秒ごとについたり消えたりを繰り返します。

・EJECT (ディスク取り出し) ボタンの働き

本製品に入っているディスクを取り出すときに押します。

ただし、ソフトウェアでディスクのイジェクト（取り出し）が禁止されている場合は、取り出すことができません。

3 ディスク取り出し穴

万一、ディスクが通常の方法で取り出せなくなったときは、この穴に、付属の手動イジェクト治具を押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。詳しくは、「ディスクの取り出し方」(→ P.11) をご覧ください。

2 ソフトウェアについて

本製品を使用するには次のソフトウェアが必要です。

- ・ MO Suppliment
- ・ MO Eject Tool
- ・ MO Security Tool

MO Suppliment および MO Security Tool は、ワークステーションのご購入時にインストールされています。

各種ソフトウェアはワークステーション本体に添付の「ドライバーズディスク」に収録されています。

インストールする場合は次のファイルをご覧ください。

- ・ MO Suppliment

[CD-ROM ドライブ] : ¥¥Other¥MO¥Driver¥XP¥Readme.txt

- ・ MO Eject Tool

[CD-ROM ドライブ] : ¥¥Other¥MO¥Eject¥Readme.txt

- ・ MO Security Tool

[CD-ROM ドライブ] : ¥¥Other¥MO¥Security¥XP¥Readme.txt

また、各種機能については『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。

■ 重要

▶「リムーバブルディスク」 – 「プロパティ」 – 「ハードウェア」から FUJITSU MCP3130UB-S USB Device を選択し、「プロパティ」 – 「ポリシー」のタブから「パフォーマンスのために最適化する」と「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」にチェックがないことを確認してください。

■ MO Suppliment について

- ・ MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に OS をシャットダウンしたり、ワークステーション本体をスタンバイに移行させたりしないでください。
データが破壊されるおそれがあります。
- ・ 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- ・ OS 標準の設定では、Administrator 権限以外では MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。
- ・ ユーザ権限でも MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、以下の操作を行ってください。
 1. Administrator 権限でログオンする。
 2. 「コントロールパネル」 → 「管理ツール」 → 「ローカルセキュリティポリシー」を起動する。
 3. 「ローカルポリシー」 → 「セキュリティオプション」 → 「リムーバブル NTFS メディアを取り出すのを許可する」の設定を、"Administrators" から "Administrators and Interactive Users" に変更してください。

POINT

▶再起動をせずに設定変更をした場合に、その設定が反映されないことがあります。その場合は再起動をしてください。

- NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。
以下のような不具合があります。
 - ライトプロテクトされた NTFS にフォーマットされた MO ディスクにはアクセスできません。
 - NTFS フォーマットされた MO ディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出せません。ドライブアイコンの右クリックの取り出しを使用してください。
 - Windows XP、Windows 2000 で NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、Windows NT4.0 では使用できません。

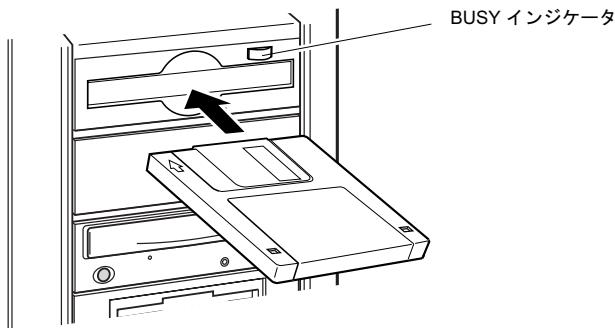
3 使い方

◆ 重要

- ▶ 本製品は、デスクトップ画面の通知領域に表示されたグリーンの矢印のアイコンから、「ハードウェアの取り外し」指示ができます。「ハードウェアの取り外し」指示をしてしまうと、OS上で本製品が使用できなくなります。
「ハードウェアの取り外し」指示をしてしまった場合、本製品を使用できるようにするには、ワークステーションの再起動または電源再投入を行ってください。

ディスクの入れ方

- 1 ワークステーション本体を起動します。
- 2 矢印のついた面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。



- 3 ソフトウェアを使って、ディスク上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。

読み取り、書き込み中は、BUSY インジケータが点灯します。

POINT

- ▶ 本製品はパワーセーブ機能をもっており、約 30 分間アクセスがない場合、ディスクの回転を停止させています。
したがって、その後の最初のアクセスに対しては、ディスクの回転立ち上げ（約 8 ~ 12 秒）のために、応答までの時間が長くなります。

ディスクの取り出し方

ディスクは次のどちらかの方法で取り出すことができます。

- 1 Windows 上で MO ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「取り出し」を実行する
- 2 光磁気ディスクユニットの前面にある「EJECT ボタン」を押す

Windows 起動状態でディスクを取り出すときは、トラブルを避けるためにも 1 の方法で取り出すことをお勧めします。

POINT

- ▶ ディスクのデータの読み取り、書き込みにより BUSY インジケータが点灯している間は、ディスクを取り出さないでください。点灯している間に取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- ▶ 本製品はディスクを取り出すときに、ディスクを先端から約 2cm 引き出した位置で、引き出す力が強く必要になることがあります。
これはディスクイジェクト動作時に、ディスクが本製品から飛び出してしまうのを防ぐための動作であり、故障ではありません。
- ▶ 本製品を固定ディスクとして使用する場合は、ワークステーションの操作中はディスクを取り出さないでください。ワークステーションの操作中にディスクを取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。

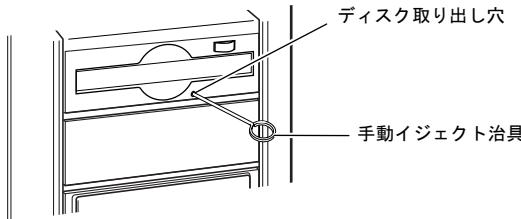
■ディスクが取り出せない場合は

次のような場合は、EJECT ボタンを押してもディスクが取り出せないことがあります。

- ・ ソフトウェアでディスクのイジェクトが無効に設定されているとき
- ・ 本製品が故障したとき
- ・ ワークステーション本体にトラブルが生じたとき
- ・ 停電などでワークステーション本体の電源が入らないとき

この場合は、次のようにしてディスクを取り出します。

- 1 ワークステーション本体の電源を切ります。
- 2 付属の手動イジェクト治具を、ディスク取り出し穴にまっすぐに押し込みます。



4 取り扱いについて

本製品の取り扱い

■ 万ーの故障を防ぐために

□ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

□ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管したりしないでください。

- | | |
|-----------------|------------|
| ・湿気の多い所や乾燥している所 | ・ほこりの多い所 |
| ・極度に高温や低温な所 | ・激しい振動のある所 |
| ・直射日光の当たる所 | ・不安定な所 |
| ・温度変化の激しい所 | |

また、保管する場合は、プリント基板面を上に向けてください。

□ 通風

本製品内部の温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包んだり、空気の流通の悪いところに置いたりしないでください。本製品内部が高温になると、動作しなくなる場合があります。

□ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げたりしたときは、本製品内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1時間以上待ってからお使いください。結露が起きたままディスクを入れると、本製品やディスクが損傷することがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにディスクを取り出してください。

□ ディスクを入れたまま移動しないでください

使わないときは、ディスクを必ず取り出しておいてください。ディスクを入れたまま、ワークステーション本体を持ち運んだりしないでください。

また、使用中は、ディスクが高速で回転しています。このとき、本製品を動かすと動作が不安定になったり、ディスクを傷つけたりするおそれがあります。ディスクを取り出してくださいから、移動してください。

□ 異常がおきたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、ワークステーション本体の電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、ご購入元または「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

「富士通ハードウェア修理相談センター」の連絡先は、ワークステーション本体に添付の『取扱説明書』をご覧ください。

■ その他ご注意いただきたいこと

□ 雑音電波について

本製品は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

□ 前面パネルが汚れたら

前面パネルの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。アルコール／シンナー／殺虫剤など、揮発性の溶液剤は使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

□ 長時間連続で使用する場合の寿命について

本製品には、有寿命部品（モーターなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

□ 高温環境で使用する場合について

本製品を搭載したワークステーションを高温環境で使用する場合、大切なデータを失わないために本製品の温度センサが働き、動作が遅くなることがあります。

ディスクの取り扱い

■ 取り扱い上のご注意

- ・ MO ディスクに書き込み動作（コピーなど）をしているときは、画面上でファイルの転送が終わってもその後しばらくの間、MO ディスクにデータの書き込みが行われます。（本製品全面の BUSY インジケータが点灯しています）
この場合、BUSY インジケータが点灯している間は、本製品のイジェクトボタンを押したり、取り出しメニューをクリックしたりすることは絶対にしないでください。書き込みデータが保証されなくなることがあります。
- ・ ディスクに激しい振動を与えることなく落としたりしないでください。
- ・ ディスクは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- ・ ディスクは、本製品に挿入すると、自動的にシャッタが開く自動装填式です。ディスクのシャッタを手で開けて、内部に触れないでください。
- ・ 温度差の激しい所や湿気の多い所では使わないでください。結露が起こって、データの書き込み・読み取りができないことがあります。
- ・ 必要以上に、ディスクを本製品に出し入れしないでください。
- ・ ディスクのラベルは、端がはがれないように貼ってください。また、ラベルを重ねて貼らないでください。本製品から取り出せなくなる原因になります。
- ・ 使い終わったら、必ず本製品からディスクを取り出しておいてください。また、持ち運ぶときには必ずケースに入れてください。

光磁気ディスクユニットをお使いになる方へ

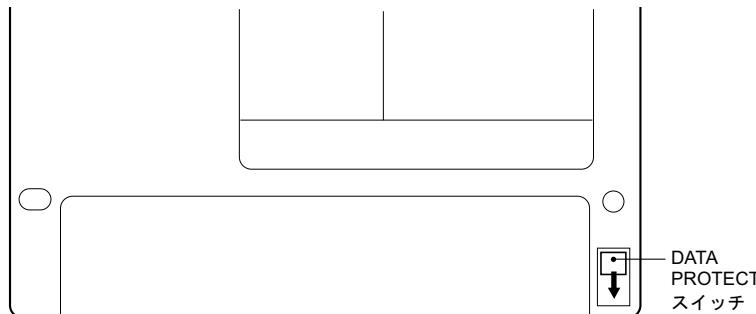
□ ディスクの保管について

- ・ディスクは、ケースに入れて保管してください。
- ・自動車のダッシュボードやトレーは高温になることがありますので、ディスクを絶対に放置しないでください。
- ・次のような場所に保管しないでください。
 - ほこりやちりの多い所
 - 直射日光の当たる場所
 - 暖房器具の近く
 - 湿気の多い所

□ ディスクのデータを守るために

ディスクには、ディスクのデータを誤って消したり、不要なデータを書き込んだりするのを防ぐための DATA PROTECT スイッチ (黒いつまみ) がついています。このスイッチを矢印の方向 (下) にスライドさせておくとディスクのデータを読み出すことはできますが、書き込むことができなくなります。スイッチを元に戻すと、再び書き込むことができるようになります。

書き込む必要のないディスクは、スイッチを矢印方向にスライドさせておいてください。



クリーニングについて

POINT

- ▶レンズおよびディスクのクリーニングを定期的に行ってください。データを正常に読み書きできなくなることがあります。

■レンズのクリーニング

本製品は、データを書き込んだり、読み取ったりするために、光学レンズを使用しています。レンズがほこりやごみなどで汚れていると、正常なデータの書き込み・読み取りができるない場合があります。このようなことを防ぐために、ヘッドクリーナで定期的にクリーニングを行う必要があります。本製品の性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□使用できるヘッドクリーナ

光磁気ディスククリーニングカートリッジ（サプライ商品番号：0240470）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングカートリッジの使用説明をご覧ください。

■ディスクのクリーニング

ディスクを長い間使用すると、ディスク上にほこりや汚れが付着し、データを正常に読み書きできなくなる場合があります。このようなことを防ぐために、ディスククリーニングキットでクリーニングを行う必要があります。

ディスクの性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□使用できるクリーニングキット

光ディスククリーニングキット（サプライ商品番号：0632440）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングキットに付属の使用説明書をご覧ください。

5 付録

主な仕様

POINT

- ▶ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- ▶ フォーマット時の容量を1MB=1000×1000バイト、1GB=1000×1000×1000バイトで換算しています。

項目	仕様							
記憶媒体	128MB	230MB	540MB	640MB	1.3GB			
セクタ容量	512bytes			2048bytes				
回転制御方式	CAV	ZCAV						
回転数	5,455rpm				3,637rpm			
平均回転待ち時間	5.5msec				8.2msec			
平均シーク時間	23msec							
Buffer容量	約 2MB							
ロード時間	8sec				12sec			
アンロード時間	4sec							
最大転送速度	480Mbps							
インターフェース	USB2.0							

CELSIUS Workstation Series
光磁気ディスクユニットをお使いになる方へ

B6FH-7091-01 Z2-00

発行日 2005年8月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。